

総領事からのメッセージ(第7回)

平成 23 年 5 月12 日

在マイアミ総領事 川原英一

◎州西部のタンパ/周辺自治体・ペンサコーラへの出張

1. 4月28日～30日迄及び5月2～4日の2度に分け、前半はフロリダ州西部にあるタンパ、セント・ピーターズバーグ、クリアウォーター市などを訪問。後半は、ペンサコーラ市に出向き、各方面で活躍されている方々にお会いしました。今回の訪問では、以下を行いました。
(1) 2011年7月下旬に予定される海上自衛隊練習艦隊のタンパ寄港時の地元での受入協力・支援依頼のため、タンパ市長、ヒルズボロ郡長、タンパ港湾当局代表等との懇談、



(左側:セント・ピーターズバーグ市長 真中:タンパ市長 右側:ヒルズボロ郡長さんと共に)

- (2)タンパ地域周辺 3 自治体及びペンサコーラ市との日本の姉妹都市関係のある4首長への表敬・懇談、
- (3)タンパ及びペンサコーラ地域での日本語教育関係者との懇談のため、南フロリダ大学(USF)及び西フロリダ大学(UWF)を訪問、タンパ地域の南フロリダ日本語教師会との懇談、USF 及び UWF に学ぶ日本人留学生との懇談、タンパ地区 JET 同窓会メンバーと懇談。更には、タンパ市南部に位置するマクディール米空軍基地にある中央軍司令部(セントコム)へ本年3月下旬から派遣中の自衛隊員と懇談。
- (4)下呂市から派遣された中学生と同市姉妹都市のペンサコーラ市の中学生の交流活動を視察、ペンサコーラ市長と懇談、同市に進出する日系企業(日立電線オートパーツ)工場の訪問、ペンサコーラ市周辺の商工会議所関係者との朝食会出席。

2. 各市長との懇談内容

- (1)セント・ピーターズバーグ市(高松市と姉妹都市)、クリアウォーター市(長野市)、ラルゴ市(高知県香美市)、ペンサコーラ市(下呂市)の各市長から、姉妹都市交流活動と市の直面する行政課題をお聞きしました。ラルゴ市を除いた3市は毎年定期的に姉妹交流をしていること、行政課題では、財政赤字対策と市職員削減に伴う行政サービスの削減、若手人材育成の必要性がある中で厳しい公立校の教育予算等が共通するお話でした。
- (2)環境にやさしい街づくりの話として、環境にやさしく、ガソリン価格の半分で済む天然ガス仕

様車の普及奨励を、クリアウォーター、ラルゴ、ペンサコーラの3市長からお聞きしました。環境問題への取り組みは、日米自治体の交流活動として最優先すべきものの一つだと思われます。日本の都市での環境問題(ゴミの分別・リサイクルなど)への取り組みをこれら市長さんが視察することを奨励し、姉妹都市間の交流をさらに発展させることは、大いに意義深いものと考えます。日本の都市における徹底したリサイクル事情を見れば、環境にやさしい町づくりを標榜している市長さんもカルチャー・ショックを覚えるのではないかと思います。



(↑左から2人目がヘイワード・ペンサコーラ市長)

(3)市民を顧客と考えると、最小コストで最大のサービス提供を心がけるフレーザー・セントピーターズバーグ市長の市政への積極姿勢は、非常に魅力あるものと感じました。同市長の市民を顧客としてとらえた行政サービスの充実姿勢の背景にあったのは、学生の頃に日本流の経営学に関心を持ったことがその一因であったと、同市長自らが述べており、興味深いものがあります。

(4)各市とも財政赤字削減が課題です。2008 年後半から、金融危機に伴う景気後退が最近まで続き、各市の財源に占める比率の大きい固定資産税が大幅に減少、上下水道・電気などの公共サービス利用料収入などに依存せざるを得ないようです。若者のための雇用創出の関連で、観光産業以外のライフサイエンス、クリーンエネルギーなどに関連した企業の誘致・事業育成には大きな関心がみられます。また、公立学校を中心とした地元の教育の質の向上が重要課題であるといった点でも共通認識があります。



(⇒ブラウン・バージ中学校での下呂市中学生との懇談風景)

(5)ペンサコーラ市で、下呂市中学生一行を受け入れているブラウン・バージ(公立)中学校では、教育方法が独自な内容です。共通履修科目としては、数学が毎日 55 分間授業があるだけで、それ以外の科目は、あらかじめ指定されたテキストがありません。教師が教材を自ら作成・選択しており、生徒は自分の関心のある分野として環境問題や古代研究などを選び教師が学生に教えたい科目内容のために独自に作成した教材に基づき、午後3時過ぎの終業時間迄、先生達が必要と考える授業を実施する方式で 20 年ほど実施しており、生徒の父母・学外からは高い評価を得ている様子でした。中学生交流プログラムだけでなく、両市の公立中学教員同士の交流をしてみると、面白い発見があるのではないかと思います。

(6)(i)ヘイワード・ペンサコーラ市長は、昨年 11 月の選挙で新市長に選出された若き市長です。これからの市の経済発展を考え、従来の観光産業への依存から、新たな雇用機会の創出の観点から、企業誘致に非常に積極的な考えである。フロリダ州内で個人所得税はなく、法人所得税は低く、7 年以内に税率をゼロとする州知事の構想もあります。

(ii)ペンサコーラ市に進出している日系企業の日立電線自動車部品企業を訪問しました。自動車のブレーキ・ホースを生産しており、同パーツの北米市場の 4 割を押さえており、米自動車市場が今後次第に回復すれば、さらなる活躍と成長可能性が大きいことや地元への雇用貢献について市長さんにお話しました。ヘイワード市長さんからは、下呂市との姉妹都市関係と併せて、日本企業の同市への誘致に関心があり、自ら日本を訪問することも検討したいとの発言がありました。

(⇒写真右から 4 番目の方が日立ケーブル大塚社長)



(7)24年ほど前から、毎年、米国の若者を対象として実施されている JET プログラムは、地元大学生の人気・関心がとても高いことは、今回訪問した南フロリダ大学(タンパ)及び西フロリダ大学(ペンサコーラ)の両大学関係者からもお聞きました。JET 帰国者の同窓会組織(JETAA)がフロリダ州にもあり、タンパ市などでは、同組織メンバーが地元大学での日本語教育にボランティアとして参加して、大変に喜ばれていました。他方、自治体首長にも、JETAA メンバーの存在を知ってもらい、今後の姉妹都市交流・親善活動など、地元での国際交流活動への参加を積極的に呼び掛けてもらうことを、今後も働きかけて必要があると感じました。又、フロリダに進出している日系企業の方々に対して、JETAAメンバーの活用についての理解が一段と高まるよう、機会を捉えてお話ししたいと思います。

◎南フロリダ大学(USF)を訪問

USF は創立後、50年の若い大学です。学生数 4 万 7 千名は、フロリダ州内で最大規模の州立総合大学であり、国際的なイノベーション研究プログラムに力を入れており、「ワールド」との名称の学部も創設しています。米国南東部随一のイノベーション・研究センターとの評価も受けている癌センター、バイオ・化学分野等での起業家の育成などに向けたリサーチも進めています。お会い出来

(↓左から 3 番目の方が国際担当副学長)



た USF のクルメット国際担当副学長よりは、3 月 11 日の災害に対する見舞いの言葉と出来ることは遠慮なく申し出てほしいとの発言がありました。当方より、米国官民の御支援に感謝するとともに、こうした大災害発生時における的確かつ迅速な日本からの情報発信の重要性も再認識された旨お話をしました。

当方から、米国 JET の日本の自治体への受け入れ実績やタンパ地区の同窓会組織 (JETAA) の存在に触れて、日本関連行事などの際に、大学側からも積極的にお声をかけて頂くことをご助言致しました。日本人留学生については、フロリダ・日本リンケージ制度 (Linkage Institute) があって、フロリダ州内学生と同等レベルへ学費を減免する制度があり、これを利用する日本人学生も多くあるようです。州予算削減の中で、本制度が今後も維持されるよう願うとの副学長のご発言もありました。

大学の日本語コースで大活躍されている日本語教師の方によれば、同大学の日本語授業は既に 90 年代後半からスタートしており、既に 10 年以上の歴史があります。現在、2 名の日本人の指導教員がいて、日本語履修者はレベル1から4迄で400名ほどおります。学生の間で日本語・日本文化への人気が高いのは、小さい時から日本アニメなどを通じて馴染みがあり、地元高校でも日本語コースがあります。3 月 11 日の日本での大震災後、3 日目には、USF 大学の日本語履修中の学生からの呼びかけにより、日本支援チャリティ活動が始まり、オリジナル T シャツ (1 枚15ドル) を販売して、800枚が売れ、日本赤十字社へ直接寄付したとの報告がありました (当方よりは感謝の辞を述べました)。

フロリダ国際大学 (FIU) 関係者との懇談

過日、公邸に FIU のウォルツォーク学長他の皆様をお招きして、大学と地域の関わり、海外大学との連携、留学生の動向などお聞きする機会がありました。FIU は、学生総数が 4 万 6 千人という大規模校ですが、学生数がさらに増大する傾向にあるとのことのお話です。学生の 3 分の2は何らかの奨学金を受けている、又、マイアミ市も含めたマイアミ・デート郡の公立の中学・高校の教員の過半数を FIU 卒業生が占めているとの由です。 (写真の左から 4 番目が FIU の学長→)



学長さんによれば、地域のニーズに関与することが大学のモットーであり、大学内に国際ハリケーン研究センターがあり、また、ハイチでの大地震被害の際への救援活動に同大学が参加しています。また、同大学医学部と地域のソーシャル・ワーカーなどが連携して、地域の公衆衛生向上活動に取り組んできています。海外大学との連携も活発で、100 以上の大学と連携しています。北京五輪の前に中国政府からの要請を受けて、FIU は中国天津大学にホスピタリティ・観光学科を立ち上げ、3-4 年生は、英語での授業を受けており、卒業生の国内での就職率も大変に良いようです。

◆マイアミビーチ・市村ガーデンでの母の日と子供の日のお祝い行事◆

5月9日(日)にマイアミ・ビーチへ向かう途中にある市村庭園で母の日と子供の日を祝う行事が一日あり、訪問しました。マイアミ・ビーチに行く途中のジャングルアイランドの隣にある市村庭園の入り口の左横には、大きな鯉のぼりがポールに掲揚されておりました。庭園の入り口を入った正面には、母の日と子供の祝いを兼ねた大きな生け花が展示されていました。この日は近隣からの親子連れの参加者で賑わっており、NYに駐在する神社本庁から派遣された職員による雅楽演奏、地元の太鼓グループ、紙芝居、武術のボランティアによる演技が予定されていました。



(了)